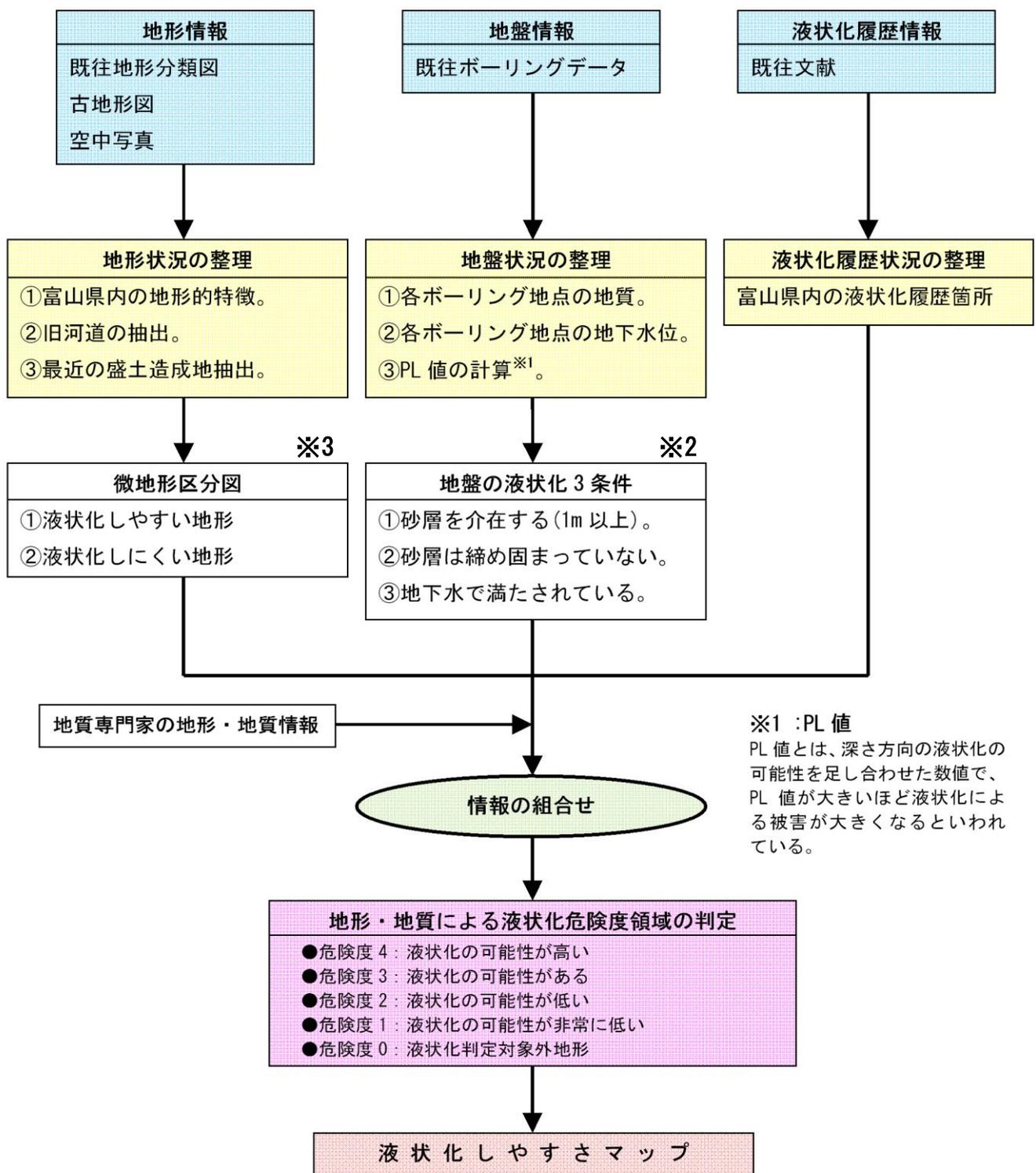


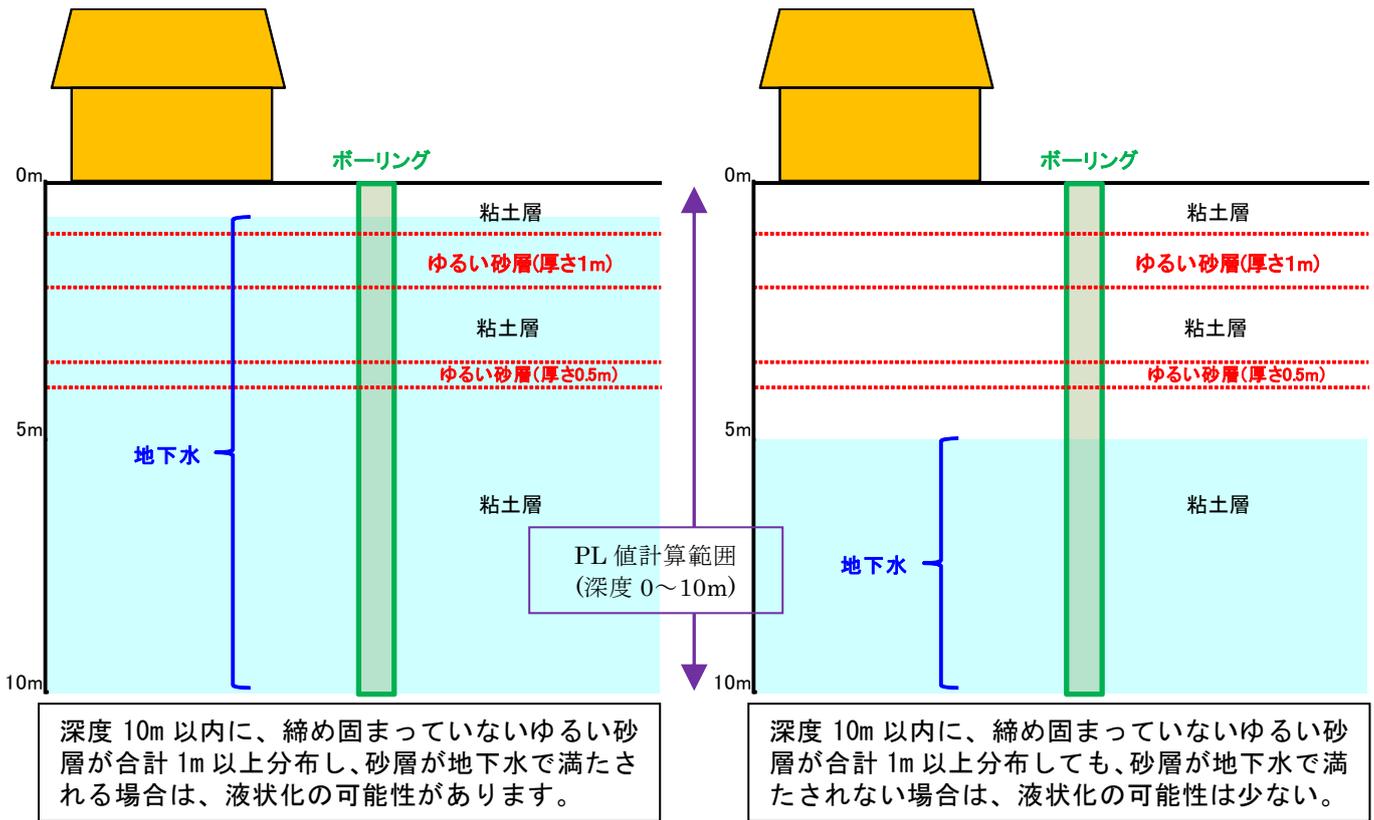
# 1章. 液状化しやすさマップ作成フロー

## 【概要】

- 地盤の液状化に関連する地形、地質及び液状化履歴についての資料を収集・整理してそれらの情報を組合せて液状化危険度を評価し、各危険度領域をマップとして表現しています。なお本マップでは、特定の震源による地震を想定せず、富山県内一律のゆれ(震度5強程度)を想定しています。
- 地形情報では、各種既往地形分類図を重ね合わせて微地形区分図を作成し、液状化しやすい地形と液状化しにくい地形の分布を確認しました。また旧河道、最近の盛土造成地を古い地形図と空中写真を用いて抽出し、微地形区分図を補完しました。
- 地盤情報では、既往のボーリングデータを収集・整理して各ボーリング地点の地質と地下水位を整理し、液状化しやすい状況か否か(地盤の液状化3条件)を確認しました。

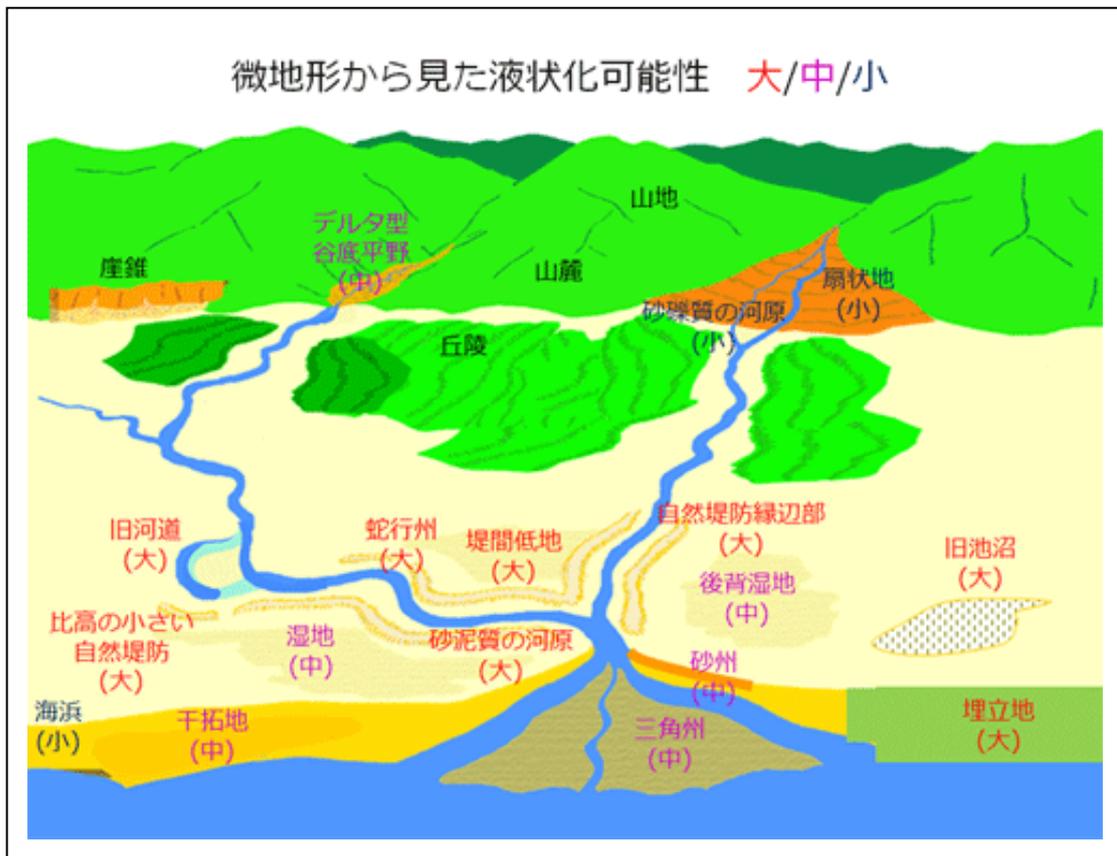


※2【既存ボーリングデータの地質状況による液状化の可能性参考図】



※文献 2)を参考に作成

※3【微地形による液状化の可能性参考図】



※文献 3)より転載